

I 事業の概要

通常評価

I-1 事業の概要

事務事業名	公害苦情処理及び公害防止事前相談	所管局部課等	環境政策局環境企画部環境指導課
ホームページアドレス	http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/soshiki/5-2-3-0-0_1.html	(連絡先)	213-0928
		(評価票作成者)	環境指導課長 白居 保

22決算額 (千円)	23予算額 (千円)	今後の方向性	24予算額 (千円)	目標達成度評価
1,213	19,018	現状のまゝ継続	9,963	指標： 公害苦情解決率
業務運営方法	■ 直営 ☐ 部分委託 ☐ 部分補助等 ☐ 全部委託 ☐ 全部補助等	委託(補助)先の名称、委託(補助)の内容 平成22年度から市内2箇所に新設した環境共生センター（平成21年度までは各区役所保健部で実施）において公害苦情の処理を行い、環境指導課でその総括を行っている。		かなり悪い 悪い 普通 良い かなり 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% 110% 120% H20年度 H21年度 H22年度
実施根拠 (法令、条例、規則、要綱等)	公害関係法令及び公害紛争処理法、京都府環境を守り育てる条例			事務事業の性格 ☒ 義務的事業 ☐ 任意的事業
開始時期	昭和 43 年度	終了(予定)時期 平成 年度	年度	類型 4 規制・指導
				会計区分 ☒ 一般会計 ☐ 特別会計

事業概要	対 象	(誰を、何を) 公害（大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下及び悪臭）発生工場・事業場
	活 動 内 容	(どのような手段で) 市民からの公害苦情の申立てに対し発生源調査を行い、公害関係法令に基づく規制基準の遵守及び指導等により公害苦情の解決を図る。また、公害の発生を未然に防止するために、工場・事業場の建設に伴う建築確認申請時に、公害防止対策面の確認及び指導等を行う。
	目 的	(どのような状態にしたいのか) 市民の健康を保護し、かつ、快適な生活環境及び良好な自然環境を保全し、その状態を維持していくことを目的とする。

I-2 投入量

年間経費等推移 (千円)	No.	区分	H20年度決算	H21年度決算	H22年度決算	H23年度予算	H24年度予算
	①	事業費 (千円)	405	5,569	1,213	19,018	9,963
		需用費（消耗品購入費等）	336	576	33	9,728	4,634
		光熱水費				2,579	1,995
		通信運搬費（電話代等）	65	85	741	1,364	1,064
		備品購入費		4,763	343	3,145	700
		その他（旅費等）	4	145	96	421	523
	①'	委託料（環境共生センター庁舎清掃等）				1,781	1,047
	②	委託料が事業費に占める割合（①' ÷ ①）（％）				9.4%	10.5%
	③	人件費（24年度は見込）（千円）	27,255	40,622	108,205	108,205	108,205
		職員（課長級）（人）	1.10	1.20	0.70	0.70	0.70
		職員（課長補佐級、係長級）（人）	0.50	0.55	2.95	2.95	2.95
		職員（係員）（人）	1.00	2.50	8.55	8.55	8.55
		嘱託職員等人件費（千円）					
	④	年間経費（①+③）（千円）	27,660	46,191	109,418	127,223	118,168
	⑤	特定財源（市税等の一般財源以外）（千円）					
		国庫・府支出金（千円）					
		受益者負担分（使用料、手数料等）（千円）					
		その他（ ）（千円）					
	⑥	京都市年間負担経費（④-⑤）（千円）	27,660	46,191	109,418	127,223	118,168
	⑦	受益者負担率（受益者負担分÷④）（％）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

Ⅱ 評価結果

事業名 公害苦情処理及び公害防止事前相談

Ⅱ-2 業績評価（Ⅱ-1 市民と行政の役割分担評価は「通常評価」のため省略）

A 目標達成度		指標名	区分	単位	H20年度	H21年度	H 2 2年度	H23年度	H24年度
指標 1	公害苦情解決率		目標値 …①	%	90	90	90	90	90
			実績値 …②	%	87	88	86		
			目標達成度（②÷①）	%	97.1%	97.8%	95.6%		
	指標の種類	増加することが良いとされる指標		評価	良い	良い	良い		
指標 2			目標値 …①						
			実績値 …②						
			目標達成度（②÷①）	%					
	指標の種類			評価					
				総合評価					

	指標の選択理由			目標値設定の考え方			
指標1	年度により苦情件数が増減するため、公害苦情の解決率を指標とする。			公害苦情の解決率90%を目標とする。（年度内の解決数をもとに解決率を算出するため、年度末に受理したものを年度内に解決するのは困難であり、目標を100%としない）			
指標変更の有無	☐ 有 ☒ 無	指標名		適用年度		単位	
指標2							
指標変更の有無	☐ 有 ☒ 無	指標名		適用年度		単位	
分析	<実績値の変動理由等> 公害発生源に対する迅速な立入調査、公害関係法令に基づく指導、また、申立人への指導内容の速やかな報告等により、高水準の解決率を維持している。						

B 効率性	No.	区分	単位	H20年度	H21年度	H22年度
	①	公害苦情件数	件	611	609	599
	②	年間経費（事業費及び人件費の合計額）	千円	27,660	46,191	109,418
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	45,269	75,848	182,668
	④	単位当たり経費変動率			+67.5%	+140.8%
分析	<コスト変動の理由等>			評価		
	平成21年度と比べ、平成22年度の経費が増加したため効率性が悪くなった。 平成22年度から、各保健所で行っていた公害関係業務を効率的にするべく、市内2箇所の環境共生センターで集中管理する組織改正を行った。			かなり悪くなった かなり悪くなった		

C 市民参加度	企画段階 ☐ 高 ☐ 中 ☐ 低 ☒ 無	<現状分析、今後の方針等> 公害苦情に対する発生源の調査及び指導であり、市民の参加はない。	
	実施段階 ☐ 高 ☐ 中 ☐ 低 ☒ 無		
	評価段階 ☐ 高 ☐ 中 ☐ 低 ☒ 無		
D 市民満足度	<調査の有無> ☐ 有 ☒ 無 ☐ 該当しない		<調査結果、現状分析等>
	<調査方法>	<調査時期>	
E 環境保全及び環境負荷軽減の要素	☒ 環境 ☐ 関連 ☐ 一般		<現状分析、今後の方針等> 今後も発生源に対する迅速な立入調査等を実施することで、解決率の向上に努める。

平成23年度の実施状況	公害苦情の申立てに対して、効果的かつ効率的に苦情発生源への立入調査及び関係法令に基づく規制基準の遵守・指導を行い、公害苦情の迅速な解決が図った。また、公害の発生を未然に防止するため建築確認申請の前に公害防止対策面の確認及び指導を行った。
-------------	--

市会・監査・外部機関等からの指摘	
------------------	--

Ⅲ 今後の方向性

現状のまま継続	（今後の方向性の理由及び具体的な内容） 平成23年度は南部共生センターの移転費用が必要であったが、平成24年度は不要となること等により経費が削減される。 なお、引き続き公害苦情の申立てに対して、苦情発生源への立入調査及び関係法令に基づく規制基準の遵守の指導を行い、公害苦情の迅速な解決を目指す。 また、公害の発生を未然に防止するために、建築確認申請の前に公害防止対策面の確認及び指導等を徹底する。
---------	---